

平成26年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	郡上市立大和北小学校		
実 施 期 間	平成26年4月～12月		
実 施 概 要	① 総合的な学習の時間の地域の方を講師に招いての魚の放流や米づくり（6月、9月、10月） ② 夢フェスタでの保護者・地域の方との全員合唱（11月15日） ③ 古今伝授の里の学校としての児童・保護者が一緒になっての夢短歌の取組（12月）		
実 施 内 容	学習・取組の分野 <input type="checkbox"/> 自然 <input type="checkbox"/> 歴史 <input checked="" type="checkbox"/> 文化 <input checked="" type="checkbox"/> 産業 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
	公開の方法 <input checked="" type="checkbox"/> 授業公開 <input checked="" type="checkbox"/> 成果発表 <input checked="" type="checkbox"/> 交流活動 <input type="checkbox"/> 講演会等  <input type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
来 校 者 数	保 護 者	115	人
	地 域 関 係 者	30	人
	計	145	人
実 施 状 況	① 地域を講師に招いてのアマゴの放流や魚つり 漁協や地域の方を講師に招いてアマゴの放流や魚つりを行い、地域の産業やふるさとを支える方の思いについて考えた。当日は保護者も参加し親子で活動に取り組む姿が見られた 地域の米づくりをしている方を講師として招き、田植えから稲刈りまでの一連の学習を総合的な学習の時間に行った。また収穫した米を利用して児童・保護者が一緒にお米のレシピに基づくお米パーティを実施した。 ② 夢フェスタで学習の成果を保護者や地域の方に発表するとともに、児童委員会が中心になってプログラムの作成、飾りつけ、運営を行った。また保護者・地域の方と一緒に「世界で一つだけの花」の全員合唱を行った。 ③ 例年特色ある教育活動として行っている「夢短歌」の取組に本年度より保護者部門を設けた。保護者のみの作品または親子での贈答歌のどちらかを保護者から広く応募し、保護者の互選による審査を実施する。		
成 果 及 び 課 題	① アマゴの放流や魚つり、米づくりを通して、児童は地域の産業についての理解を深めると共にふるさとの産業を支える人々の思いや願いについて考え、ふるさとを愛する心を育てることができた。また親子でのお米パーティを行うことやアマゴを持ち帰り各家庭で調理してもらうことで、保護者の意識も高まった。 ② 保護者、地域の方が子どもたちの一緒に大きな声で歌ってくださった。子どもたちが一緒に歌う保護者や地域の姿を見ることや参観のみでなく参加型の部分を取り入れたことで地域の学校という意識が高まった。 ③ 古今伝授の里にある学校として、親子がともに短歌の制作に取り組むことを通して、短歌を通しての親子の語らいの場をもったり、地域文化の向上を図ることができる。		